

UNITE FOR GOOD

よいことのために手を取り合おう

2025～26年度年度
国際ローター会長 Francesco Arezzo



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第31回例会 2026.5.25 (#2481) 舞の間
例会ホスト・紹介係 吉沢会員
受付係 保科会員 福田会員
司会者 乳井会員 ソングリーダー 末竹会員

卓話 「日本のエネルギー問題
～原発・自然エネルギー・石油危機～」

さくら法律事務所長 河合 弘之会員

前回の報告

第30回例会 2026.5.18 (#2480) 麗の間
例会ホスト・紹介係 杉山会員
受付係 濱田会員
司会者 浅野会員 ソングリーダー 崎山会員

卓話 戦国大名の事業承継
～後継者の選定・育成について～

歴史家・作家 加来 耕三氏
紹介者 保科会員

今期のモットー: 「より高みを目指して」

会長報告

- 1) 細谷会長は体調不良のため、暫くお休みとなります。その間齊藤パスト会長が代行いたします。
- 2) 本日は、著名な加来耕三先生にお越しいただきました。戦国大名の事業承継というタイトルで卓話をお願いいたします。御客様もたのしみになさってください。
- 3) 今期もあと2カ月足らずです。会員増強にご協力ください。

幹事報告

- 1) 会員名簿様のデータについて、変更などのご希望の方ある方は事務局までお申出下さい。
- 2) 来週は、新旧合同のクラブ協議会がございます。今期、来期の各委員長は御準備をお願いいたします。
- 3) 先週の理事会で、事務の引継ぎをスムーズに行うための「引継ぎ委員会」を発足させ、事務局だけに任せず会員も積極的に引継ぎに関わるようにし、整理していきます。また、事務局へのメールはすべて、後任の石井さんにも共有していただけるようにしました。

例会記録

会員総数 60名 出席会員数 17名
ゲスト 1名 ビジター 0名
その他 2名 海外ビジター 0名
事務局 3名

ニコニコボックス

保科会員: 加来先生、本日は卓話をありがとうございます
齊藤会員: 会長代行をしばらく務めさせて頂くことになりました。宜しくお願い致します。
藤田会員: 加来先生、卓話をありがとうございます。

次回予告

第32回例会 2026.6.1 (#2482)

会場: 麗の間
例会ホスト・紹介係 林野会員
受付係 園田会員 中村会員
司会者 末竹会員
ソングリーダー 鄭会員

会員名簿を更新いたします。
名簿は1年おきに作成しております。
皆様の名簿のデータに変更やご希望がございましたら、6月10日までにお知らせください。

卓話 会員を知ろう④

林野秀徹会員・中村和典会員
濱田広道会員・新保雅敏会員

環境価値創造～カーボンクレジットで新たな価値創造を

(株)バイウィル代表取締役社長 下村 雄一郎氏 (5/11 卓話 園田会員紹介)



バイウィルが目指す世界観

日本の GX は、脱炭素・エネルギー安定供給・経済成長という本来の定義からかけ離れ、義務としての受動的な対応にとどまっています。しかし、「仕方なくやる」先に、成長はありません。私たちバイウィルはその原点に立ち返り、GX による経済成長を実現したいと考えています。

その鍵となるのが「環境価値」です。企業活動の中に埋もれたその価値を見出し、取引可能な経済価値に転換することで、GX を「やるべきこと」から「やりたくなること」へと変えていく—それが私たちの目指す世界観です。

GX を推進する「Climate Asset Developer」として

私たちバイウィルは、自らを「Climate Asset Developer」と定義しています。

Climate Asset (気候資産)とは、CO2 を吸収する森林、省エネ設備、太陽光発電設備など、気候変動にポジティブな影響を与える価値(環境価値)を内包した資産を指します。これらの気候資産が有す「環境価値」を「経済価値」へ転換することで、更なる気候資産へ投資拡大させる—それが私たちの役割です。具体的に取り組む事業は、カーボン・クレジット(J-クレジット)の創出支援、クレジットの調達・売買仲介、GX コンサルティング、ブランドコンサルティング、省エネ設備等の導入支援の5つです。現在、全国 79 の金融機関・12 社の事業会社と連携し、106 の自治体ともパートナーシップを結んでいます。顧客紹介件数は 3,500 件を超え、この全国規模の強力なネットワークが私たちの強みです。

見過ごされていた「環境価値」を見出し、カタチにし、活用する

弊社事業の中でも柱になる「J-クレジット」は、環境貢献活動によって削減・吸収された CO2 を国が認証し、売買可能な形にした仕組みです。カーボンニュートラルを目指す際、自社努力だけでは削減しきれない排出量を「オフセット(相殺)」する、いわば「ラストワンマイル」として機能します。

具体的には、太陽光発電設備を導入すると「電気代の削減」というメリットがありますが、他にも「化石燃料由来電力の代替」という環境貢献の実績—すなわち J-クレジット化できる「環境価値」が眠っています。

この価値を J-クレジットというカタチに変換し、販売・収益化に至るまで支援することが、弊社の J-クレジット創出支援事業です。

なお、J-クレジットの創出手続きは、取り組みの開始から約 2 年を要し、審査・検証費用も数百万円超が必要であり、高いハードルがあります。そこで弊社は完全成功報酬モデルを採用し、J-クレジットの売買成立まで一切の費用をいただかない仕組みとしています。

既に、北海道・陸別町や島根県・奥出雲町などの豊かな森林から創出した J-クレジットを、地縁ある企業へ譲渡することで、環境価値と経済価値の循環が実現しています。自治体に留まらず、企業との連携も拡大中であり、阪急電鉄様、三井住友海上様、アイリスオーヤマ様、エディオン様をはじめ、業種や規模を問わず取組みの輪が広がっています。森林や全国で行われる太陽光発電設備や LED 照明の導入など、日本各地の気候資産から、100 件を超える J-クレジット創出プロジェクトを推進。**誰もが率先して GX へ取り組む世の中を目指して**

脱炭素のポテンシャルはあっても、モチベーション・知識・資金が不足している地域や中小企業。一方、技術と資金はあるものの、それを最大限活かす対象を見つけにくい大都市や大手企業。この二者の間でカーボン・クレジットを軸に「環境価値と経済価値の循環」を生み出し、「脱炭素の加速と経済成長の両立」を実現する。それこそが私たちバイウィルの使命です。脱炭素を義務から機会へと捉えなおしたとき、脱炭素の取り組みが経済成長へと繋がり、日本の産業と地域に新たな成長の種が宿ると確信しています。それこそが GX であり、私たちは「環境価値」を「事業」に変える共創者として、皆さまとともに前向きに取り組める未来を創ってまいります。

会社概要

社名	株式会社バイウィル
所在地	東京都中央区銀座7丁目3番5号ヒューリック銀座7丁目ビル 4階
設立	2013年11月11日
代表	代表取締役社長 下村 雄一郎
資本金	10億2,840万円



企業や自治体、そして地域の「環境価値」を「事業」に変える共創者として展開する4事業

環境価値創出支援事業 (クレジット創出)	環境価値売買事業 (クレジット調達・仲介)	脱炭素コンサルティング事業	ブランドコンサルティング事業
----------------------	-----------------------	---------------	----------------

加盟団体など

Keidanren 日本経済団体連合会 | GX League GXリーグ | J-クレジットプロバイダー (Japan Green Credit Exchange)

主要株主

三井住友海上キャピタル | MUFG 三菱UFJHDG | SCSK | SMBCヘラルドキャピタル | TBSH | YMFGキャピタル

© BYWILL Inc. (Confidential) 3

東京麹町ロータリークラブ

設立	1968年6月17日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204号
		TEL:03-3263-9220
会長	細谷 彬	FAX:03-3263-9122
幹事	木寅 雅之	e-mail office@koujimachi-rc.jp
公共イメージ向上委員長	保科 充弘	URL: www.koujimachi-rc.jp